

神奈川大学史研究会開催報告

第四回

日時…二〇一八年六月六日（水）

十七時一〇分～十八時四〇分

会場…横浜キャンパス三号館三〇五講堂

報告者…青木祐介氏（横浜都市発展記念館副館長・主任調査研究員）

長・主任調査研究員）

報告…「神奈川大学始まりの地とみなとみらい

キャンパスの地」

開会挨拶…木内好信（神奈川大学資料編纂室長）

司会進行…大坪潤子（神奈川大学資料編纂室）

参加者…三十六名

〔概要〕

神奈川大学は二〇一八（平成三十）年で創立九十周年を迎え、みなとみらいキャンパスが着工した。そして本学の歩みは、みなとみらい地区に近い桜木町の桜木会館というビルの一部を借りた「横浜学院」に始まる。この二つの地が、横浜という都市の形成史においてどのような背景をもつものか、いま

知っておくための研究会であった。

報告では、横浜学院から神奈川大学へ至る本学の歩み、明治前期から震災復興期までの都心臨海部の形成過程、戦後の横浜駅、飛鳥田市長と六大事業、そしてみなとみらいの誕生が、豊富な写真や地図と共に語られた。

また、これまで不明であった「桜木会館」の建築年や竣工当時の写真が示されるなど、刺激に満ちた内容であった（桜木会館については青木氏に改めて本紀要で詳しく述べていただいたので、「神奈川大学発祥の地、桜木会館について」を参照されたい）。



第4回研究会